

日本地衣学会

No.41

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次 第3回大会報告(速報)/大会実行委員長.....143

第3回大会報告(速報)

JSL 3rd Annual Meeting at Machida (News Flash)

(南 佳典：大会実行委員長)

7月10～11日に玉川大学農学部において、日本地衣学会第3回大会およびシンポジウムを開催した。参加者は一般会員34名、学生会員9名、非会員1名であったが、シンポジウムを公開としたことが功を奏し非会員のシンポジウム参加者は15名を迎えることができた。

大会初日10日午後に総会が開かれ、吉村庸会長の挨拶の後、活動報告が山本庶務幹事から行われ、前年度の事業報告と2004年度の事業計画遂行状況に関する説明がありいずれも承認された。つづいて山本庶務幹事からいくつかの協議・報告事項について説明があった。その中に、第4回大会(広島大)についての報告があり、並びに第5回大会の開催地(高橋氏を世話人として明治薬科大学)について報告があった。また、大韓民国の地衣学についての報告も出され、日本と韓国が中心となって東アジア地衣学会設立についての構

想の話も出された。しかし、大変興味深い話ではあるが、時期尚早であるとする意見が出された。

総会に引き続いて「地衣学の基礎と応用」と題するシンポジウムが公開で開催された。まず吉村庸氏(服部植物研究所,高知分室)が「ミステリアスな地衣類、その



図1. 吉村 庸氏によるシンポジウム講演。



図2．山本好和氏によるシンポジウム講演．

限りない魅力」と題する講演を行った。地衣類の基本的な構造についての話を非会員の参加者にもわかりやすく説明し、さらに謎の多い生物であり生物学の基本的な問題を考える上で非常に魅力的な生物であることが強調された。続いて、原田浩氏(千葉県立中央博物館)が、「日本産地衣類および関連菌類のチェックリスト」と題した講演を行った。まず日本における地衣類相解明の歴史とチェックリストへの流れを紹介し、チェックリストの概要とその今後、関連事業に就いてまで言及された。関連事業の中には新しい地衣類図鑑の編纂・発行も含まれ、分類学者のみならず一般地衣類研究者にとっても待ち遠しい地衣類図鑑の発行ということもあり、大いに期待が高まったようである。最後に、山本好和氏(秋田県立大学生物資源科学科)が、「地衣類の培養と応用」と題した講演を行った。その中で、地衣類利用の歴史やその有用性について説明され、地衣類の利用には培養が不

可欠であることが示された。さらに、二時代謝物質や生物活性についての報告もなされた。

シンポジウム終了後、場所を朔風館食堂(同キャンパス内にある学生食堂)へ移動し懇親会を開催した。30名を超える参加者があり、大変和やかに楽しい時間を過ごすことができた。最後には、朔風館食堂の計らいで、玉川大学農学部で作られている玉川アイスクリームも出され、大変好評を得ていたようである。

翌11日は口頭発表の形式による研究発表会が開催された。午前8題、午後9題の合計17題の発表があり、韓国からの発表者も迎え、分類や地衣類相、生理、生態、化学など幅広い分野にわたる内容があり、各発表に対して熱心な質疑応答がなされた。それぞれの発表内容についてはLichenology誌3巻2号(今年11月末発行予定)にその要旨が掲載される予定であるのでそちらを参照されたい。

今回の大会では、発表と同時に「地衣類写真館」と題したスライドショーを、安斉氏のご尽力によって開催した。幻想的な音楽が流れるやや暗めの部屋でのスライドショーでは、現れる地衣類たちの姿が何となく神秘的に感じられたのは私だけではないだろう。また、受付周辺には地衣類の写真や吉村会長が持参された生駒氏が複製した地衣学関係の文献など、会員からの展示物が多くにぎやかに彩りを添えていた。

途中激しい雷を伴う豪雨となったが、大変盛会の下で第3回大会は閉幕となった。今回も参加者全員が活発な討論を通じて互いの交流を深めることができたものと信じる。来年の広島大会での再会を約束して解散とな



図3．HUR, Jae-Seoun氏による講演．



図4．木下薫氏による講演．



図5．受付周辺に展示された地衣類の写真．

ったが、このような成功を収めることができたのも参加者のみならず、すべての会員の皆様のおかげであると感じている。特に、安斉氏、木下氏、今井氏、大石氏には大会の準備と実行にあたり大きなご助力をいただいた。また、玉川大学農学部の学生達は大会準備から当日に至るまで裏方となって走り回ってくれた。この場を借りて心からお礼申し上げる。

日程

7.10 (土)

10:00-12:00 評議員会(会長, 幹事)

13:00-15:00 総会

15:30-17:30 シンポジウム

18:00-20:00 懇親会(朔風館食堂)

7.11 (日)

10:00-12:00 研究発表会

13:00-15:00 研究発表会

受付開始～2日目午後の研究発表会開始まで

「地衣類写真館」(日本地衣学会第3回大会会場隣)

公開シンポジウム「地衣学の基礎と応用」

1. 「ミステリアスな地衣類、その限りない魅力」/ 吉村 庸((財) 服部植物研究所)
2. 「日本産地衣類および関連菌類のチェックリスト」/ 原田 浩(千葉中央博)・岡本達哉(高知大・理)・吉村 庸((財) 服部植物研究所)
3. 「地衣類の培養と応用」/ 山本好和(秋田県立大学)

研究発表

《発表A1》島根県においてツバキ葉上に生じるマルゴケ属(*Porina*)地衣の分類学的研究 / 周藤靖雄(元島根林技センター)・大谷修司(島根大・教育)

《A2》東アジア産淡水生アナイボゴケ科地衣類(1)・中国雲南省北西部における生育地調査 / 原田 浩(千葉県立中央博物館)

《A3》*Anzia* と *Pannoparmelia* の分子系統 2 / 藤原文子・原光二郎・吉村 庸*・J. A. Elix**・山本好和

- (秋田県立大学生物資源学科, *服部植物研究所, **オーストラリア国立大学)
- 《A4》イオウゴケ菌によるフルオロ化合物の変換 / 遠藤美紀・原光二郎・小峰正史・中村薫*・山本好和(秋田県立大学生物資源学科, *京都大学化研)
- 《A5》イオウゴケ菌によるカルボン変換物の構造決定 / 瀬川高輔・原光二郎・小峰正史・浜田博喜*・山本好和(秋田県立大学生物資源学科, *岡山理科大学)
- 《A6》*Cladonia cristatella* 菌による色素生産 / 北川通孝・原光二郎・小峰正史・山本好和(秋田県立大学生物資源学科)
- 《A7》培養地衣菌 *Lecanora cinereocamea* の生産する naphthopyrone について / 竹仲由希子・棚橋孝雄・濱田信夫*(神戸薬科大学・*大阪市環境科学研究所)
- 《A8》*Lethariella seranderi* の成分検索 / 木下薫・成井孝雄・小山清隆・高橋邦夫・C. F. Culbertson*・西野裕一**(明治薬科大学生薬学教室, *デューク大, **ファーマシスト)
- 《P1》地衣類由来の氷結晶コントロール物質の探索とその諸性質 / 志賀紀人・河原秀久・山本好和*・伊村 智**・神田啓史**・中島裕之***・小幡 育(関西大学生物工学科, *秋田県立大学生物資源科学部, **国立極地研究所, ***久留米高専生物応化)
- 《P2》Induction of Microbial Activity by Lichen

- Colonization in an Abandoned Coalmine Refuse Dump Soil / Jae-Seoun HUR (Dept. Envir. Educ., Suncheon National University)
- 《P3》銅およびカドミウムの地衣菌 *Tremolecia atrata* への濃集機構 / 藤井洋光・原光二郎・小峰正史・大貫敏彦*・山本好和(秋田県立大学生物資源学部, *日本原子力研究所)
- 《P4》地衣類を食草とする鱗翅目ヤガ科シラホシコヤガについて / 山下由佳・大石英子*(東京農業大学短期大学部生物生産技術学科, *東京農業大学短期大学部環境緑地学科緑地生態学研究室)
- 《P5》地衣およびその共生藻の乾燥耐性の比較 / 小杉真貴子・森山裕布・菓子野康浩・小池裕幸・佐藤和彦(兵庫県立大学理学部生命科学科)
- 《P6》地衣類の耐塩性に関する遺伝学的研究 (sod2 領域) / 橋本佳奈・中島裕之(久留米工業高等専門学校生物応用化学科)
- 《P7》日本産トゲヨロイゴケ *Sticta weigellii* (Ach.) Vain. の分布と形態 / 高橋奏恵・加藤裕一*・出口博則(広島大・院・理・生物科学, *21世紀の森と広場)
- 《P8》地衣類の人工栽培. 2 / 佐藤千秋・岩崎友仁子・小峰正史・原光二郎・山本好和(秋田県立大学生物資源学部)
- 《P9》*Psilolechia lucida* の分布と成分 / 吉村 庸・原田 浩(服部研・高知, 千葉県立中央博物館)

you or your organization must obtain permission.
For details, see no. 40, p. 142 of this publication.

Lichenology 日本地衣学会ニュースレター とも、投稿先は:

原田 浩. 〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2
千葉県立中央博物館. Fax 043-266-2481.
E-mail: h.hrd3@mc.pref.chiba.jp

(原田浩: 編集委員長)

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌40号142ページに。

Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication,

日本地衣学会ニュースレター 41号

発行日: 2004年 8月23日

編集: 原田浩・岡本達哉・木下靖浩・棚橋孝雄
発行者・発行所: 日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城中野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内
